

優秀賞

水への恩返し

私達人間の身体の六割は水で構成されており、産まれた時から水と共に生き、成長し、命が燃えつきる最期の瞬間まで身体の中で寄り添って生きてくれます。日々身体の中で、温かく見守り包み込んでくれる水に、私達は何を返せるでしょうか。マイクロプラスチックによる水の汚染、東日本大震災による汚染水、生活排水での水質汚染等、私達は水を大切にすることで、汚して恩を仇で返していることが多いのではないのでしょうか。

水を必要としている生き物の中で、水を汚し、他の生き物にまで犠牲を強いるのは、私達人間だけです。今から六年前、道端を歩いていると、用水路からフワッと風に乗った汚臭が鼻に届きました。ブクブクと泡立ちながら、用水路に生活排水が流れ込んでいたのです。泡の下で赤い何かが蠢いていまし

た。目を凝らして見ると、ザリガニでした。小さな子供のザリガニも、卵を抱えた母親ザリガニの上にも容赦なく生活排水が降り注いでいたのです。こんなにも汚染された場所にも生き物が精一杯生きていくことに驚き、悲しくなりました。あれから六年後、ザリガニは一匹もいなくなっていました。残っていたのは、六年前と何も変わらない泡立った生活排水と、鼻につく汚臭だけでした。

目を閉じて想像してみてください。もし自分があの川に住むザリガニだったら。もし私達に降り注ぐ雨が生活排水のように臭く有害だったら。生き物達はただ一生懸命生きていただけなのに、何故私達人間のせいで、罪無き生き物達が犠牲にならなくてはいけなかったのでしょうか。水は私達人間だけの物ではありません。植物も他の生き物にも無くてはならな

会津若松市立一箕中学校 二年

塚田つかだ

暖菜はるな

い、とても大切な地球からの恵みなのです。水は私達人間に対して、どう思っているでしょうか。人間が生きていくためには必要不可欠な存在なのに、感謝されず、一方に汚され、水不足になったら文句を言われ、洪水や津波の時には恐れられます。水にもし感情があつたなら、人間に対し怒っているでしょうか。それとも、もっと大切にしてと嘆き悲しんでいるでしょうか。あなたの目の前の水は、無言で何を私達に訴えてきているでしょうか。

震災や断水の度に、水の大切さが身に染みます。コロナ禍の今、手洗いうがいなどで感染対策できるのも水のおかげです。しかし、日々の忙しい生活の中で、水を大切にしている気持ちは時間と共に頭の片隅に追いやられていきます。どうしたら水の大切さを忘れずに心に刻めるでしょうか。私は、たった小さな一歩でも出来る事から続けようと思い、節水シートを作った水場の近くに貼り、毎日意識づけることにしました。トイレのレバー近くには「小で流すこと」と、洗面場や台所には、「大切な水」というように、手書きの水のイラストと共に一言添えてシール

を作った貼りました。その結果、シールが家族の目にも入ることになり、水道代が下がり、家族皆が水を大切にしている日々が続くようになりました。少しは水に恩返しできた気がして嬉しかったです。今日の水は、特別に美味しく感じられました。

いつも当たり前前に家族のように側にいてくれる水。蛇口を捻ればすぐに会える水。毎日、飲み水、風呂、トイレ、洗濯、料理等、無くては生きていけない水。世界中で水道水が飲める国はわずか十五ヶ国しかありません。現在の日本が、世界に誇れる水準の綺麗な水に会えるのは、過去の方々の努力の結果だと思えます。私達は未来へ、この美しい水を繋げることが出来るでしょうか。それとも、負の遺産として未来の私達の子供達に背負わせるのでしょうか。積水成淵、水を大切に一人一人のわずかな行動でも、積み重ねれば、大きな力になると思えます。何気ない日常を支えてくれる水に、感謝の気持ちをもち、少しずつでも恩返しすることが私の目標です。